

カイヤ・サーリアホ 作曲

オペラ『Only the Sound Remains -余韻-』

(日本初演/新制作) [全2部/原語(英語)上演 日本語字幕付]

Kaija SAARIAHO: Only the Sound Remains

[Opera in 2 Parts/Sung in English with Japanese surtitles]

Approximate Running Time: 2 hours including an intermission

2021.6.6 [Sun] 15:00開演 (14:15開場)

予定上演時間: 約2時間 (休憩1回含む)

東京文化会館 大ホール

Sunday, June 6, 2021 15:00 (Open 14:15)

Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

第1部: Always Strong

第2部: Feather Mantle

原作: 第1部 能「経正」、第2部 能「羽衣」

台本: エズラ・パウンド、アーネスト・フェノロサ

First Part: Always Strong

Second Part: Feather Mantle

Original Work

Noh dramas: *Tsunemasa* (First Part), *Hagoromo* (Second Part)

Libretto: Ezra POUND, Ernest FENOLLOSA

余韻

Only the Sound Remains

SAARIAHO's Opera (Japan Premiere/New Production)

指揮: クレマン・マオ・タカス

演出・美術・衣裳・映像: アレクシ・バリエール

第1部 経正/第2部 天女: ミハウ・スワヴェツキ

第1部 行慶/第2部 白龍: プライアン・マリー

第1部/第2部 振付・ダンス: 森山開次

第1 ヴァイオリン: 成田達輝*

第2 ヴァイオリン: 瀧村依里*

ヴィオラ: 原 裕子*

チェロ: 笹沼 樹*

カンテレ: エイヤ・カンカーンランタ

フルード: カミラ・ホイテンガ

打楽器: 神戸光徳

(東京文化会館チェンバーオーケストラ)

*東京音楽コンクール入賞者

コーラス: 新国立劇場合唱団

・ソプラノ: 渡邊仁美

・アルト: 北村典子

・テノール: 長谷川 公

・バス: 山本竜介

Conductor: Clément MAO-TAKACS

Direction/Set, Costume, Video Design: Aleksii BARRIÈRE

Spirit (First Part), Angel (Second Part): Michał SŁAWECKI

Priest (First Part), Fisherman (Second Part): Bryan MURRAY

Choreography and Dance: MORIYAMA Kaiji

(First & Second Part)

1st Violin: NARITA Tatsuki*

2nd Violin: TAKIMURA Eri*

Viola: HARA Yuko*

Cello: SASANUMA Tatsuki*

Kantele: Eija KANKAANRANTA

Flute: Camilla HOITENGA

Percussion: KAMBE Mitsunori

(Tokyo Bunka Kaikan Chamber Orchestra)

*Tokyo Music Competition Prizewinners

Chorus: New National Theatre Chorus

-Soprano: WATANABE Hitomi

-Alto: KITAMURA Noriko

-Tenor: HASEGAWA Tadashi

-Bass: YAMAMOTO Ryusuke

東洋と西洋の交差する、サーリアホの能世界。日本初演



Embassy of Finland
Tokyo

文化につながる、未来につながる。
THE FUTURE IS ART

TokyoTokyo
FESTIVAL

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

60th Anniversary

Only the Sound Remains

余韻

日本から発信する国際的なプロジェクト。2021年秋、ヴェネツィア・ビエンナーレでの上演決定！

来年70歳を迎える現代を代表する作曲家カイヤ・サーリアホ。その作風は、管弦楽に電子音響が加わった、視覚的なイメージを想起させる優美で独特なサウンドにあり、オペラ『遙かなる愛』はザルツブルク音楽祭で初演され、メトロポリタン・オペラでも上演されるなど、世界的にも極めて注目度の高いアーティストです。

『Only the Sound Remains』は、サーリアホが能を題材に書き上げた4作目となるオペラ作品で、2016年に世界初演され、欧米で大きな成功を収めました。本公演は、新進気鋭の演出家アレクシ・バリエールと人気実力ともにトップクラスの振付家森山開次らを起用した新しいプロダクションであり、本作品待望の日本初演となります。どうぞお見逃しなく！



カイヤ・サーリアホ [作曲]

Music: Kaija SAARIAHO

カイヤ・サーリアホは世界に大きなインパクトを与えているフィンランドを代表する作曲家のひとりである。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)でコンピューター支援作曲や録音及びライブエレクトロニクスを巧みに使いこなす技術を磨き、ここでの経験が緩やかに変化する高密度の音の集合体を強調した管弦楽曲の作曲へのアプローチに影響を与えた。その後、オペラを手がけ、2000年にザルツブルク音楽祭で初演を迎えた『遙かなる愛』は絶賛され、荣誉あるグロマイヤー賞を授与された。

近年では、ピーター・セラズやエサ・ベッカ・サラネンを始めとする様々なアーティストと密接な創作的関係を構築した活動を行い、作品を「抽象的なプロセスから生まれるものではなく、聞き手に考えやイメージ、感情を切実に伝える媒体」と捉え、多くの作品を生み出している。2021年7月に新作オペラ『イノセンス』がエクサン・プロヴァンス音楽祭で世界初演予定。

クレマン・マオ・タカス [指揮] Conductor: Clément MAO-TAKACS

カイヤ・サーリアホ作品のスペシャリストとして、サーリアホのオペラ『シモーヌの受難』のチェンバーオペラバージョンの世界初演を行うなど、サーリアホの多くの作品を定期的に指揮している。2019年にオスロ・フルハーモニー管弦楽団、ペテル・ヘルズタールの演奏でサーリアホのヴァイオリン及びオーケストラ作品のCDをBISレコードからリリース。その表現力と演技が称賛され、スベルマン賞にノミネートされた。グラモフォン誌に「これを凌ぐものはない」と評され、2021年グラミー賞の最終選考に残っている。2021年ロンドン交響楽団を指揮してエクサンプロヴァンス音楽祭でのデビュー及びサンフランシスコ・オペラでのデビューを予定している。



アレクシ・バリエール [演出・美術・衣裳・映像]

Direction/Set, Costume, Video Design: Aleksis BARRIÈRE

1989年生まれ、パリ出身。パリのソルボンヌ大学で哲学を専攻後、プラハのTheatre Facultyにて演出及び舞台デザインを学ぶ。彼の芸術的なアプローチを特徴づけるものとして、ビデオ媒体が挙げられる。演出家として、チェコで数多くの演出を手掛け、その後、国際的に活躍。カイヤ・サーリアホ作曲『シモーヌの受難』(2013年初演)やフィンランド国立歌劇場/Musica Nova Festivalで世界初演された『Violences』(2019年世界初演、作曲: Juha T. Koskinen)の演出で注目を浴びる。また、作家としても活躍しており、バリエールの文学作品は、カイヤ・サーリアホやDiana Syrseの楽曲でも使用されている。指揮者のクレマン・マオ・タカスとパリに様々な芸術ジャンルのプラットフォームとして機能するミュージック・シアター「La Chambre aux échos」を設立し、活動を展開している。

森山開次 [振付・ダンス(第1部・第2部)]
Choreography and Dance: MORIYAMA Kaiji (First & Second Part)
2005年、自身の演出振付によるソロ作品『KATANA』で「驚異のダンサー」(ニューヨークタイムズ紙)と評され、07年ヴェネツィア・ビエンナーレ招聘。12年発表『蔓茶羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞ほか三賞受賞。13年文化庁文化交流使。ベルリンフィル×AI搭載ピアノや雅楽・伶楽舎との競演など実験的なプロジェクトに多数参加。近年ではオペラ『ドン・ジョヴァンニ』、新国立劇場バレエ団「電宮」の演出振付も手がけるなど活動の幅を広げている。



ミハウ・スワヴェツキ

[第1部 経正 / 第2部 天女(カウンターテナー)]
Spirit (First Part), Angel (Second Part):
Michał SŁAWECKI (Countertenor)



ブライアン・マリー

[第1部 行慶 / 第2部 白龍(バス・バリトン)]
Priest (First Part), Fisherman (Second Part):
Bryan MURRAY (Bass-baritone)

美術・照明・衣裳: エティエンヌ・エクスブライア
Set, Lighting, Costume Design: Étienne EXBRAYAT

音響: クリストフ・レブレトン
Original Sound Design and Max Program:
Christophe LEBRETON

舞台監督: 山田ゆか
Stage Manager: YAMADA Yuka

国際共同制作: ヴェネツィア・ビエンナーレ / パラウ・デ・ラム・ムジカ
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
協力: ディアモンドビー・オーディオテクニク・ジャパン株式会社 / ヤマハミュージックジャパン株式会社 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
後援: フィンランド大使館
助成: 公益財団法人 花王 芸術・科学財団



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。

t-bunka.jp/info/5673/



お問合せ: 東京文化会館 事業係
03-3828-2111(代表)
t-bunka.jp
@tbunka_official

公演詳細はこちら

◎第1部: Always Strong (原作: 能「経正」)
一ノ谷の合戦で命を落とした琵琶の名手平経正を弔うため、仁和寺の僧都・行慶は、経正の愛器「青山」を手向け、管弦講を催す。すると、夜更けに経正の亡霊が現れ、青山を奏でて昔を懐かしむ。しかし、戦での憤りの心から、修羅の道に落ちた姿に変化すると、それを恥ずかしく思った経正は、みずから燈火を消し、姿を消す。

◎第2部: Feather Mantle (原作: 能「羽衣」)
三保の松原に住む漁師・白龍は、松の枝にかかった美しい布を見つける。家宝にするため持ち帰ろうとすると、天女が現れ、「羽衣がなくては天に帰れない」と悲しむ。白龍が天女の舞を見せてもらうことを条件に羽衣を返すと、天女は舞を舞い、地上に宝を降らせ、富士の峰へと昇っていく。

◎料金(全席指定)

S席13,200円、A席11,000円、B席8,800円、C席6,600円、D席4,400円、E席2,200円

シルバー(65歳以上): S席12,100円

ハンディキャップ(介添え1名まで同一料金): S席11,550円

25歳以下: A席3,300円

*各種割引チケットは、東京文化会館チケットサービスのみ取扱い、要証明書。
*団体割引(S~C席/10名以上)あり。詳細は東京文化会館チケットサービスまでお問合せください。

*本公演は、客席内にスピーカーを設置いたします。
*本公演は東京都の「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」に基づき、客席数を収容定員の約半分まで発売します。国や都などの方針等により、ご来場時に応務のご移動をお願いする場合がございます。
また、収容定員制限が緩和された場合、追加販売を行います。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の状況により収容定員制限が再度強化された場合、追加販売したお席は拡販の対象となり、ご鑑賞いただけなくなります。予めご了承の上ご購入ください。

◎発売日

一般発売: 2月13日[土]

◎チケットのお申し込み

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 t-bunka.jp

チケットびあ 0570-02-9999 t.pia.jp

イープラス eplus.jp/t-bunka/

ローソクチケット 0570-000-407 l-tike.com

カンフェティ 0120-240-540 confetti-web.com

*やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

*未就学児の入場はご遠慮ください。
*託児サービス(要予約・有料・定員あり・5/28(金)17時締切)があります。
イベント託児・マザーズ: 0120-789-222
*東京文化会館大ホールには、エレベーター、エスカレーターはございません。予めご了承ください。

[関連イベント]

ワークショップ「カイヤ・サーリアホが描く音風景」

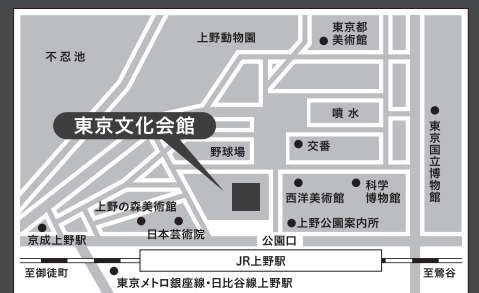
カイヤ・サーリアホを迎えて、作品解説等の関連イベントを開催します。

日程: 2021年6月1日[火] 19:00 開演

会場: 東京文化会館 小ホール

状況によって、作曲家はオンラインでの参加となります。

*イベント詳細は、確定次第東京文化会館公式ウェブサイトに掲載いたします。
主催: 東京都 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京



・JR上野駅公園口より徒歩1分・東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅より徒歩5分
・京成電鉄京成上野駅より徒歩7分